

平成30年度第1回東大阪市立体育館運営審議会 会議概要

日 時：平成30年7月23日（月） 午後2時～

場 所：東大阪市立総合体育館 研修室

出席者：村田委員長、前島副委員長、井上委員、斎藤委員、西野委員、塩路委員、
松澤委員、筒井委員、清水委員、土方委員、川口委員、土屋委員（計12名）
（欠席：水谷委員）

会議内容

事務局挨拶 福原部長
委員長挨拶 村田委員長

(1)委員長・副委員長の選出について

仮議長 福原部長
村田委員長・前島副委員長を選出

(2)平成30年度の体育館の運営について（事務局より説明）

東大阪市立総合体育館、東体育館を運営している指定管理者について

東大阪市立総合体育館、東体育館の概要

市立総合体育館の利用状況、自主事業の状況、事業報告及び事業計画

市立東体育館の利用状況、自主事業の状況、事業報告及び事業計画

委 員 総合体育館の平成30年度の利用率が、平成29年度と比較して減少している。
東体育館のリニューアル工事の際に総合体育館の利用者数が増え、工事完了後に東体育館に利用者が戻ったことが理由か。

事務局 総合体育館の近隣にエニタイムフィットネスができ、市民の方の選択肢が増えたため、利用者が減少したと思われる。

委 員 総合体育館の大アリーナ、小アリーナの稼働率が減少していると思う。

事務局 件数自体に変わりはないが、利用人数が違うため稼働率が減少した要因だと思われる。

委 員 総合体育館館内に事前精算機を設置したことにより、すぐに出庫できるようになったため便利になった。

委 員 4施設の指定管理を1指定管理者が運用することにより効果はあったか。

事務局 同じ自主事業を効率的に開催することが出来るようになった。

また、大アリーナの土日に予約が埋まっていれば、市民ふれあいホールの案内が出来るようになった。

- 委員 オーパスの予約画面を見たら、4施設の空き状況を確認することはできるか。
- 事務局 4施設同時に確認することは出来ないが、オーパスカードをお持ちでない方には窓口で空いている施設の案内を行っている。
- 委員 4割減額、免除の割合はどのくらいか。
- 事務局 正確な割合は分からないが、土日は4割減額、免除の大会事業が多い。

(3)東体育館の休館日臨時開館について（事務局より説明）

- 委員 平成30年度に東体育館の休館日臨時開館とあるが、平成29年度も実施していたか。
- 事務局 去年の稼働率は10パーセントくらいだったが、今年は23パーセントで途中経過のため今後も上がる。昨年、自主事業は椅子ヨガ教室と筆文字アート教室のみだったが、今年は5講座実施するため稼働率は上がると思われる。
- 委員 中学校吹奏楽部の練習で東体育館を利用している。学校は冷暖房が効いた大きな部屋がないため、東体育館で練習させてもらうのはありがたいが、使用料は免除にはならないか。
- 事務局 今回は通常料金をいただいている。
- 委員 大会であれば全額免除だが、練習のため仕方が無いと思うが、考えていただければありがたい。
- 委員 委員名簿は掲載されているが、事務局側の名簿がないため、いただきたい。
- 事務局 後日送付いたします。
- 委員 連日猛暑が続いており、熱中症の心配がある。指定管理者が参加者や主催者へ注意喚起や啓発等はされているか。
- 事務局 館内掲示をし、スタッフが利用者とのコミュニケーションを図るようにしている。空調を利用するようにお伝えしている。